

1. 科目名 (単位数)	発達心理学 (2 単位)		3. 科目番号	SSMP2342 SNMP2342 SCMP2342 SBMP2342 SPMP2342 EDPS2304
2. 授業担当教員	後藤 進吾			
4. 授業形態	講義、ディスカッション、グループ討議・発表	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	今日の発達心理学は、人間の受精から死までを扱う「生涯発達心理学」を意味する。本講義では、最初に発達の全体的なプロセスやメカニズムについて、概観する。そして、身体、認知、感情、言語、社会性など、それぞれの機能がどのように発達していくか、考えたい。また、現代の少子高齢化社会や情報社会特有の問題と発達との関係、幼児や児童、生徒の心身の発達を踏まえて、主体的な学びをさせる指導法、関わり方についても講義、ディスカッション等を行いながら、学習を進めていく。			
8. 学習目標	(1) 発達の過程および特徴を理解するための基本的概念および代表的な理論を理解し、説明ができる。 (2) 発達の機能的側面から、そのメカニズムを理解することにより、幼児や児童・生徒の学習を支える指導の基本的知識と視点を持ち、さまざまな発達の問題に対処できる。 (3) 学習内容を自分の発達問題として捉え、応用できるようにすることを通して、幼児や児童・生徒の主体的な学びを保障するあり方を体得できる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	事前学習において、授業で取り扱うトピックに関し、自身の経験・体験も踏まえ思考を巡らせておくこと。これは、各発達段階において、自身の発達や親、祖父母の世代に目を向け、日常の振り返りと学習内容の結びつきを確認するためである。			
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 坂上裕子・山口智子・林創・中間玲子 著『問いからはじめる発達心理学 生涯にわたる育ちの科学』有斐閣。 加えて、適宜スライドやプリントを使用する。 【参考書】 内田伸子『発達心理学キーワード』有斐閣双書。			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 (1) 発達の過程および特徴を理解するための基本的概念および代表的な理論を理解し、説明ができる。 (2) 発達の機能的側面から、そのメカニズムを理解することにより、幼児や児童・生徒の学習を支える指導の基本的知識と視点を持ち、さまざまな発達の問題に対処できる。 (3) 学習内容を自分の発達問題として捉え、応用できるようにすることを通して、幼児や児童・生徒の主体的な学びを保障するあり方を体得できる。 ○評定の方法 ・試験・小テスト等 40% ・レポート等課題研究 20% ・平常点 (授業態度、ディスカッションへの参加、発表、発言) 40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。			
12. 受講生への メッセージ	初回授業では受講ルールや成績評価の詳細を説明します。受講希望者は必ず第一回目の授業に出席してください。なお、受講態度と課題への積極的な取り組みを評価しますので、授業内容に関連しない私語・居眠りや携帯電話の使用、事前に通知のない欠席・遅刻・早退は減点の対象となります。			
13. オフィスアワー	決定次第、通知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション：発達心理学と自己理解	事前学習	生涯発達の概念について考え、自身のこれまでの発達について振り返る。	
		事後学習	生涯発達と自身の人生の関連について理解を深める。	
第2回	胎児期・新生児期：	事前学習	自身、あるいは一般的な胎児期・乳幼児期の発達について調べまとめてくる。	
		事後学習	ワークシートを用いて胎児期・新生児期の発達を振り返る。	
第3回	乳児期：情緒・親子関係、ボウルビイの愛着理論	事前学習	自身、あるいは一般的な乳児期の発達について調べまとめてくる。	
		事後学習	ワークシートを用いて乳児期・幼児期の発達を振り返る。	
第4回	幼児期：自己と遊び、言語の発達	事前学習	自身、あるいは一般的な幼児期の発達について調べまとめてくる。	
		事後学習	ワークシートを用いて幼児期の発達を振り返る。	
第5回	児童期：友人関係と道徳性の発達、ピアジェの認知発達理論	事前学習	自身、あるいは一般的な児童期の発達について調べまとめてくる。	
		事後学習	ワークシートを用いて児童期の発達を振り返る。	
第6回	児童期：発達障害と児童虐待	事前学習	発達障害や児童虐待に関する記事や事例を調べ、疑問や自身の考えを整理する。	
		事後学習	ワークシートを用いて、発達障害や児童虐待に対する理解を深める。	
第7回	これまでのまとめと小テスト	事前学習	配布資料を確認し、疑問点を整理する。	

		事後学習	これまでの学習内容を振り返り、発達の連続性を確認する。
第8回	青年期前期：精神的な自立	事前学習	自身、あるいは一般的な青年期前期の発達について調べまとめてくる。
		事後学習	ワークシートを用いて青年期前期の発達を振り返る。
第9回	青年期後期：アイデンティティの確立	事前学習	自身、あるいは一般的な青年期後期の発達について調べまとめてくる。
		事後学習	ワークシートを用いて青年期後期の発達を理解する。
第10回	成人期前期：親密性と世代性	事前学習	「親になる」ことと「親をする」ことの違い、親になることで変化することを事前に調べ、考えておくこと。
		事後学習	ワークシートを用いて成人期前期の発達を理解する。
第11回	成人期後期：子どもの巣立ちと第2の人生	事前学習	自身、あるいは一般的な親世代が直面する課題について事前に調べ、考えておくこと。
		事後学習	ワークシートを用いて成人期後期の発達を理解する。
第12回	高齢期：人生を振り返る	事前学習	高齢者が抱える生活上ないし心理的な課題を推測し、調べ、自身の考えをまとめておくこと。
		事後学習	ワークシートを用いて高齢期の発達を理解する。
第13回	学生の視点から捉えた主体的な学びの演習・第1回目のグループ・ディスカッションおよび発表	事前学習	これまでの学習内容の中から特に興味・関心を持ったテーマを選び、学生の視点からまとめ、グループディスカッションによる意見交換と発表を行う。質疑応答にも備える。
		事後学習	他のグループの発表内容を振り返る。
第14回	学生の視点から捉えた主体的な学びの演習・第2回目のグループ・ディスカッションおよび発表	事前学習	これまでの学習内容の中から特に興味・関心を持ったテーマを選び、学生の視点からまとめ、グループディスカッションによる意見交換と発表を行う。質疑応答にも備える。
		事後学習	他のグループの発表内容を振り返る。
第15回	全体のまとめテスト	事前学習	授業内容を振り返り、生涯発達の視点から主体的な学びとは何かを考える。
		事後学習	発達の本質について考察する。